

## 12 研修・実習実績

### (1) 研修実績

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

期 日	研 修 対 象 者		研修 人員	備考
	所 属	科 ・ 学 年 等		
R2.4.6～R2.9.3	日本医科大学	医学部法医学教室	1	臨床検査技師
R2.6.29	東京都健康長寿医療センター	病理診断科後期研修医	1	
R2.7.2	東邦大学	医学部医学科第6年生	5	
R2.7.7	警察大学校	初任幹部科第69期生等	17	
R2.7.25	警察庁	長官官房総務課	1	
R2.8.12	東京慈恵会医科大学	法医学講座職員	1	

### ※養成施設等別研修者内訳

施設分類	研修人数	回数
医 学 部 関 係	7 (3大学)	59
警察・消防・その他	19 (3団体)	6

### (2) 監察医等実習実績

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

期 間	延日数	所属 (大学・医療機関等)	人数
R.2.4.1 ～ R.3.3.31	2	自治医科大学附属さいたま医療センター皮膚科	1
R.2.4.1 ～ R.3.3.31	2	国際医療福祉大学医学部法医学教室	1
R.2.4.1 ～ R.3.3.31	6	下総精神医療センター精神科	1
R.2.4.1 ～ R.3.3.31	2	東京医科歯科大学大学院法医学	1
R.2.4.26 ～ R.2.5.26	2	町田市医師会	1
R.2.7.27 ～ R.2.7.31	5	都立広尾病院救急診療科	1
R.2.4.16 ～ R.3.3.31	4	日本医科大学附属病院脳神経外科	1
R.2.9.1 ～ R.3.3.31	7	琉球大学大学院医学研究科法医学講座	1
R.2.8.31 ～ R.2.9.18	10	墨東病院	2
R.2.9.28 ～ R.2.10.2	4	広尾病院	1
R.2.11.3 ～ R.2.11.3	1	東京慈恵会医科大学	1
R.2.10.1 ～ R.3.3.31	1	東邦大学医学部医学科 4年	1
R.2.10.15 ～ R.3.3.31	8	順天堂大学医学部 3年	3
R.2.11.11 ～ R.3.3.31	15	東京慈恵会医科大学法医学 (陸上自衛隊衛生学校)	1
R.3.3.8 ～ R.3.3.31	2	順天堂大学医学部 4年	2
合 計	71		19

### (3) 検視官研修

警察大学校法医専門研究学生（警視庁及び各都道府県警察において検視業務に従事する技官・警視・警部）の法医学（検案・解剖）の実務研修受け入れ

実績無し

（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

### (4) 検視実務専科研修

関東管区警察学校検視実務専科学生（都道府県警察本部において、検視官の補助として勤務している者及び将来補助者になる予定の者並びに警察署において検視業務に携わる警部補、巡查部長）の法医学（検案）の実務研修受け入れ

実績無し

（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

## 13 令和2年（2020年）研究業績

### (1) 論文・著書

発表者	題名	誌名・年・巻(号)・頁
Suzuki H, Tanifuji T, Kimura S, Fukunaga T.	Epidemiology of alcohol-related accidental death in Tokyo Metropolitan area (2015).	Med Sci Law. 2020; 60: 4-10.
Suzuki H, Fukunaga T.	Death due to a bronchus-pulmonary artery fistula developed 19 years after radiotherapy: A forensic autopsy case report.	Leg Med (Tokyo).2020; 47: 101774.
Takayama M, Kashiwagi M, Hara K, Matsusue A, Waters B, Kubo S.	A large interhemispheric gliependymal cyst associated with partial defect of the corpus callosum in an elderly man.	Neuropathology. 2020; 40 :496-500.
Waters B, Takayama M, Kashiwagi M, Hara K, Matsusue A, Kubo S.	An autopsy case of acute ethanol intoxication with a high concentration of caffeine: A warning about dangerous.	Nihon Arukoru Yakubutsu Igakkai Zassi. 2020; 55: 151-158.
呂 彩子, 景山則正, 向井敏二	がん関連静脈血栓塞栓症による突然死の臨床病理学的特徴.	静脈学. 2020; 31: 123-129.

(2) 学会発表等

発表者	題名	学会名等(開催地)・開催年月日等
木村聡子, 鈴木秀人.	肺動脈血栓塞栓症の死後単純 CT 画像の有用性の検討.	第 104 次日本法医学会学術全国集会. 日本法医学雑誌. 2020; 74: p83, 京都.
村松尚範, 海野啓志, 菅野幸子, 石澤不二雄, 本田克也.	検知管を用いた臓器からの血中 COHb 濃度推定法の開発.	第 104 次日本法医学会学術全国集会. 日本法医学雑誌, 2020; 74: p55, 京都.
村松尚範, 海野啓志, 石澤不二雄, 菅野幸子, 鈴木秀人, 本田克也.	胆汁でのリキッド・メタルアナリシスの有用性 - 脂肪肝での胆汁中微量元素の変化 -.	第 31 回日本微量元素学会学術集会. Biomed Res Trace Elements. 2020; 31: p60, 静岡.
高田綾, 木村聡子, 齋藤一之, 米山克美, 勝又純俊, 村松尚範, 朝倉久美子, 鈴木秀人, 中西宏明, 原正昭.	全身性アミロイドーシスによる非外傷性脾破裂の一剖検例.	第 104 次日本法医学会学術全国集会. 日本法医学雑誌. 2020; 74: p63, 京都.
呂彩子, 景山則正.	脳動脈瘤における血管外膜炎の免疫組織学的観察.	第 36 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会. 脳血管内治療. 2020:5s, p53, 京都.
呂彩子, 景山則正, 森晋二郎, 木村聡子, 朝倉久美子, 古後斗冴, 杉浦弘明, 向井敏二.	後腹膜原発胚細胞腫の下大静脈浸潤による肺腫瘍塞栓症の 1 剖検例.	第 39 回日本画像医学会. 日本画像医学会雑誌. 2020; 38 : p94, オンライン開催.
呂彩子, 景山則正, 千葉正悦, 鷺盛久, 林田真喜子, 井川亨, 大出透乃, 一場一江, 向井敏二.	行政解剖例におけるがん関連血栓塞栓症の特徴.	第 104 次日本法医学会学術全国集会. 日本法医学雑誌. 2020; 74: p66, 京都.
呂彩子, 景山則正, 森晋二郎, 木村聡子, 朝倉久美子, 氣賀澤秀明, 菊地洋介, 林紀乃, 杉浦弘明, 向井敏二.	後腹膜原発の胚細胞腫瘍による肺腫瘍塞栓症の 1 剖検例.	第 109 回日本病理学会総会. 日本病理学会会誌. 2020:109 : p486, オンライン開催.
森晋二郎, 呂彩子, 景山則正, 水上創.	死後 CT 画像における胸膜外血腫の胸膜外脂肪層変位所見について: 2 剖検例.	第 104 次日本法医学会学術全国集会. 日本法医学雑誌 2020; 74: p92, 京都.
早川輝, 氣賀澤秀明, 木村聡子, 齋藤一之, 高橋遥一郎, 佐野利恵, 福田治紀, 窪理英子, 小湊慶彦.	冠状動脈起始部位・走行異常(AAOLCA-IA)に合併した Stanford A 型急性大動脈解離の一剖検例.	第 104 次日本法医学会学術全国集会, 日本法医学雑誌. 2020 ; 74 : p64, 京都.

発表者	題名	学会名等（開催地）・開催年月日等
高橋 遥一郎， 早川 輝， 佐野利恵， 福田治紀， 木 村聡子， 高田綾， 齋藤一 之， 小湊慶彦。  (以下, 教育活動)	死後画像検査の結節性硬化症にお ける有用性の検討.	第 89 次日本法医学会学術関東地 方会, 講演要旨集. 2020;p18, 東京.
林紀乃	内因性急死.	令和 2 年春 警察大学校(法医専門). 2020 年 7 月, 9 月. 東京.
林紀乃	監察医制度.	北里大学医学部法医学講義. 2020 年 5 月. 神奈川.
林紀乃	監察医制度.	日本大学医学部病理学講義. 2020 年 9 月. 東京.
引地和歌子	法医学(死因究明制度) - 監察医は 語る.	星薬科大学講義. 2020 年 11 月. 東京.
菊地洋介	東京都監察医務院の紹介.	東京大学医学部 第 4 学年法医学講 義. 2020 年 5 月. 東京.
菊地洋介	死後画像診断—その有用性および 限界—.	北里大学医学部 第 4 学年法医学講 義. 2020 年 5 月. 相模原.
菊地洋介	死後画像診断—その有用性および 限界—.	慶應義塾大学医学部 第 5 学年法医 学講義. 2020 年 8 月. 東京.
鈴木秀人	検案と法医解剖.	自治医科大学医学部法医学講義. 2020 年 12 月. 栃木.
鈴木秀人	交通法医学.	関東管区警察学校警部補任用科交 通課程講義. 2020 年 2 月. 東京.